

要旨

今、LGBT という言葉が我々の身近に現れ、それによりアメリカ、台湾、中国などが様々な運動や同性婚を合法化し、日本もそれに乗るように日本も重要視し始めた。だがしかしこれら LGBT は急激に増えたからではなく、今まで存在を隠していた LGBT の人達が我々にカミングアウト出来るようになってきたからである。

2017年4月17日に公開の「美女と野獣」にディズニー初の LGBT キャラが登場した。そのキャラについてコンドン監督は、「ル・フウはいつかガストンのようになりたいと願い、またいつの日か彼にキスできたらとも思っている」、「ル・フウは自分の求めるものが分からず混乱しており、それをジョシュは繊細にうまく演じた」、「ディズニー映画で初めてのゲイモーメントだよ。この時がやってくるまで長すぎたかもしれないけど、これはディズニーの分岐点になるよ」と発言を残した。

こうしてディズニー映画が公開された1950年から「美女と野獣」が公開される2017年まで67年間あったが、ディズニーが LGBT を支持することは、受け入れていける環境を作り始めたという事である。

本論文では LGBT の学校生活や就職活動、法制度について論じ、LGBT の取り組みをしている企業を紹介しながら、LGBT について論じていく。